

○井神議長 通告4番目、15番、増田浩二議員、一問一答方式で質問をお願いします。
増田浩二議員。

○増田議員 15番、増田浩二、議長の許可を得ましたので一般質問を行います。

この12月議会では、道路整備について、教育文化ゾーンにふさわしい根来寺周辺の環境整備についての2点を質問したいと思います。一問一答形式で行いますので、よろしくお願ひいたします。

まず、道路整備について質問を行います。

岩出市は、昭和63年度に人口3万人を超え、現在では5万3,000人を超える、こういう状況になってきています。この間、都市化に伴い、乱開発が進められてきた結果、行きどまりや迂回のできない、そういう地域が市内のあちこちに生まれてきているという状況となってきています。この間、市としても都市計画道路の促進などで、さくら保育所から粉河加太線の間を初めとして、一定の改善も図られてきているわけですが、今後、行きどまり対策、迂回策、今後の都市計画道路や道路整備、この問題について、どう取り組もうとしているのかをまずお聞きしたいと思います。

2点目として、岩出市の現状から見て、俗に言う南北を結ぶ道路はあるんですが、東西を結ぶ道路、この道路が少ないという現状があります。開発されている地域との関係で、農免道路のような東西を直線的に結ぶ、こういうような道路は大規模な区画整理事業を伴うことになって、こういう点からは、現実的ではないのではないかと考えます。今後、東西を結ぶ線という点では、市としては、どのような方向性で各地域の東西道路というのを改善という点を進めるのか、2点目としてお聞きをしたいと思うんです。

3点目として、今、京奈和道路の開通によって、交通量なんかもふえてきているという状況の中で、今、他市町村から岩出市を通る、そういうような車も数多く見られています。この点では、きょうもこちらに来るときには、熊谷というナンバーなんかも見受けられました。まさに関東圏からでも、この京奈和道路を通過して来ているという状況だと思うんです。

この点では、京奈和道路への案内表示板という面では、この京奈和道路から和歌山方面に向かう点では、泉佐野線と大型農道の交差部、ここには和歌山方面、俗に言う、安上のエニシル方面ですね、そちらのほうに向かう誘導看板というのは、現実にあります。しかし、今度、逆に粉河加太線の安上におけるエニシルという部分については、京奈和道路への誘導看板というようなものはありません。根来小学校の東の交差部ですね、ここなんかについても、そういう誘導看板というのも、表示

板というのはありません。

また、農免道路の川尻交差点、これは西のほうから走ってきた場合に、泉南という部分の書いた文字、こういう看板はあるんですが、京奈和道路はこちらですよというようにわかるような、そういう看板の案内表示というのはありません。

また、粉河加太線の根来の交差点の部分、ここの部分なんかについても、実際に京奈和道路についてはこちらですと、京奈和、左ですとか、和歌山方面から来たら、京奈和道路は左側ですよというような矢印なり、左側というような、そういうドライバーの目線にはっきりとわかる、こういうような形の案内表示というものなんかもないわけです。こういう点では、県に対して、そういう案内板の表示というものを見直すというんですか、そういう部分なんかも含めて、ドライバーなんかに対して、特に他府県から来られた方にも、もっとわかるような形で、そういう案内表示板の見直しというものの働きかけを行ってはどうかというふうに思います。

4点目は、粉河加太線のうぐいす台からおりてきた交差点の部分、これは変則交差という部分となって、通行しにくいという地点になってきています。この間、市としても、ずっと改善策というものが考えられてこられたわけなんですけど、現時点で改善の方向性というのは見出せたのか、この点をお聞きしたいと思うんです。

また、現在も変則道路という部分を解消するための地権者の方との関係なんかでも、引き続いて交渉されておられるのか、それとも、今のこのままの現状以外にないのかという形になっているのか。この点について、4点にわたって質問をしたいと思います。

○井神議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 宅地造成において、新たに設置される道路につきましては、開発区域の規模や現状、周辺の土地の地形及び利用の対応に照らし計画しておりますが、小規模な宅地造成の場合、行きどまり道路を全面的に禁止することは、現実的には困難であると考えます。

開発協議におきましては、できる限り通り抜けや環状化を図るよう指導しておりますが、やむを得ない場合は、建築基準法施行令に基づき、車両の通行上、支障のないよう計画を行っております。なお、生活道路の整備として、開発地域や集落から幹線道路への接続道路を優先的に拡幅する事業にも取り組んでおります。

次に、岩出市の東西を結ぶ道路が少ないという話は初めてお伺いしましたが、現状につきましては、北から市道根来北大池線ほかの、通称広域農道、岩出根来イン

ターチェンジへのアクセス道路である市道根来安上線、県道粉河加太線、市道山西国分線、国道24号、県道小豆島岩出線、県道和歌山打田線等の主要幹線道路が整備されております。さらに、平成28年度には京奈和自動車道紀北西道路が全線開通することから、これ以上の東西の幹線道路については必要ないものと考えております。

なお、今後の道路事業につきましては、交通量が年々増加している市道山西国分線の交通安全対策事業である歩道整備事業及び交差点改良事業を重点的に進めてまいります。

次に、京奈和自動車道への案内標識板設置についてであります。岩出根来インターチェンジ供用を見据え、岩出市と関係機関が対策協議におきまして、スムーズに岩出根来インターチェンジへ誘導できるよう案内標識板の検討を行っておりますので、問題ないものと考えております。

次に、うぐいす台入り口交差点につきましては、車が交差点内に停車しないようT表示の交差点表示を設置しております。しかし、抜本的な解決に至らないので、以前から県警察本部交通規制課に信号による対策をお願いしているところですが、西側の交差点との距離が短いため、信号制御は困難であると言われております。

○井神議長 再質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 今、答弁をいただきました。その中で行きどまりなんかの解消ですね、こういう部分なんかについては、実際には工事そのもの自身進めていく、道路行政ですね、進めていくという部分では、住民感情なんかとの間も含めて、非常に難しいものがあるとは思っています。そんな中で、実際には、私、今度の第2次岩出市長期総合計画の後期基本計画、この部分、素案なんです、改めて見てみたんです。すると、この中で、先ほどの答弁の中では、東西の道路については必要ないというお答えをいただいています。

この素案の中には、縦線の道路、この道路と東西、この東西を結ぶ道路、この道路については、南北の幹線道路などへの主要幹線道路を結ぶ道路の建設計画に取り組むと。東西の道路は必要だという形で、はっきりと明確に、この素案の中にも、これ打ち出されてきているんですね。だから、今の答弁だと、この素案の中身でも違うんじゃないかなというふうに思っています。

そういう点では、東西の道路は要らんのだという、その説明は、そういう部分については、どのような形で整合性という部分が出てくるのかなと。特に、この中で書かれている、25ページなんです、この25ページのところには、2番目のところで、

安上中島線などの主要な南北幹線道路が完成する中、これらの主要幹線道路を結ぶ道路など、生活道路の整備実情を図るための建設計画に取り組みますという形に書かれているんですね。

それでいうと、俗に言う、そういう部分なんかでは、しっかりと縦の南北の幹線道路につなぐ、そういう道路ということは、俗に言う、やっぱり東西の道になるというふうに、私は本当に思うんですね。だから、そういう点では、そういう部分なんかも含めて、今後のそういう形での道路計画というのは、今後、どのような形でその事業を進めていくのかというのを改めてお聞きをしたいと思いますし、この間、今もお話があったんですが、接続道路というんですか、そういう部分なんかでしていく、そういう整備は行っていくんだということなんですが、今の住宅密集地という関係なんかでいうと、その地域というんですか、その地域を限定して、俗に言う、再開発事業というような、そういう形も含めて、市としては、今後進めていかざるを得ないのか、そういう点についても、再度お聞きをしたいと思うんです。

もう1点は、現実には、案内表示看板というのは、いろんなところで議論したから、もう必要ないよという、そういう答弁だったんですが、実際には、先ほども言ったように、農免道路の川尻の交差点の手前の看板なんかには、京奈和自動車道という、そういう表示板そのもの自身も、やっぱりないんです。根来の小学校の東側のところなんかでも、そういう部分の表示というものはありませんので、今後どのような形で、もっとそういう表示板というのを、表示の関係で、わかりやすいような形で、案内をできるような形で進めていくという点では、やはり、私は、先ほどの看板、もう必要ないよというんじゃないしに、改めて県に対しても、そういう形で要望していったらどうかというふうに思いますので、改めて、その辺のお答えいただきたいというふうに思います。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長公室長。

○湯川市長公室長 増田議員の再質問にお答えいたします。

後期基本計画の話ですけども、広域幹線道路であります京奈和自動車道紀北西道路、これの開通をもって、東西南北、本市の骨格をなす幹線道路の整備というのは、一定の終了を見ると、このように考えてございます。

ただ、今後の交通量の増減によりまして、例えば、開発が進んだ地域がありますと、生活道路等をまた検討していかなければならないということにもなってくるかと思っておりますので、そういうことで計画を検討すると、こういうことでございます。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 道路案内標識についての再質問にお答えします。

まず、標識の設置箇所がないというご質問だったんですが、根来の交差点については、案内標識板は設置しております。それと、道路の案内標識は、市外からの旅行者のように道を知らない人に対して案内するもので、わかりやすいように主要幹線道路を使って誘導するようにしています。

標識を余りにも設置し過ぎると、煩雑となって、かえって混乱を招きますので、例えば、大きくない交差点で、直進の場合は設置していないようなところもあります。また、農道のような道路につきましては、市民など道を知っている人が通行していると思われまますので、案内標識は設置しておりません。

○井神議長 再々質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 案内板の表示については見解の相違であるというふうに、もうなってしまうかなというふうにも思うので、あくまでも、それは市の考え方がそうだというんであれば、私は、少なくともそういうところにはありませんよという形で指摘をさせていただいたんで、今後とも、より一層、幹線道路という部分という観点から考えても、粉河加太線にはありますよというだけの話であって、農免道路にはないという形ですので、そういう点でいうたら、農免道路なんかも基幹幹線の1つだという、そのことだけは、そういうところにはないんだという、そういう指摘だけはさせていただきたいと思います。

それと、東西の道路の関係については、実際には幹線道路というのを結んでいくという道路については、今も答弁があったと思うんですが、開発の部分なんかもあわせた上での幹線道路へ結んでいく道路をつくっていくんだという、そういうふうに認識しますのであれなんですけど、ただ、実際に既存の部分で、袋小路というふうになっているところというのは、市内にも、例えば、高瀬団地にしても、総体の南側のあの辺の団地なんかにしてもそうなんですけど、それ以外にもいっぱいいろんなところであると思うんです。そういうところなんかは、市としては、そういう部分の点なんかについての市として、今後、解消していかなければならないというふうに認識されているような地点というのは、どのような点で、今後改善を図っていくのかという、この点だけちょっとお聞きをしたいと思います。

○井神議長 ただいまの再々質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 先ほどの答弁でも答えさせていただいたんですが、生活道路の整備としまして、開発地域等からの幹線道路に接続道路を優先的に拡幅する事業にも取り組んでおりますので、解消してほしいというご要望の声が多ければ検討していきたいと考えております。

○井神議長 これで、増田浩二議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いします。

増田浩二議員。

○増田議員 2点目に、教育・文化ゾーンにふさわしい根来寺周辺の環境整備について、質問を行いたいと思います。

根来寺周辺地域は、林町長の時代から教育・文化ゾーンとして位置づけられてきています。歴史的遺産、地域遺産を生かす上でも、住寺池周辺、ねごろ資料館や図書館周辺、前山地域などが、時代時代に整備もされてきているわけではありますが、今後、このような市として、教育・文化ゾーンという位置づけにふさわしい総合的な環境整備という点において、今後どのように進めていくという方針を持っていくのかという点、これをまずお聞きをしたいと思うんです。

2点目としては、この根来の前山には五百仏山遊歩道というものもあります。ここには四国八十八カ所のほこらが祭られて、頂上には東屋なんかも設置がされてきています。南は紀の川平野、北を見れば根来寺境内、これを一望できるわけですが、案内看板も設置されてからかなり経過もしてきていると思うんですね。その中で、古ぼけて見えにくい状況、こういうような状況にもなってきています。また、山火事注意というような看板なんかも朽ち果てているというようなところなんかもあったりもして、実際には、この遊歩道なんかに来られた方についても、決していい印象ですね、来てよかったなというふうに与えるような印象では、私はないと思うんです。

前山については、岩出町の時代に多目的保安林総合整備事業という形で、この間、整備もされてきました。現在、頂上まで行くまでの部分には、今も少し急な場所もあって、改めて、もうちょっと安全に行けるような手すりも含めた整備なんかも行って、ハイキングを初めとして、観光客の方たちにも、前山遊歩道ってこんなにすばらしいところだったんだと、再発見、これをしてもらう上でも、紀の川や根来寺境内の眺望のすばらしさ、こういうものなんかも知ってもらう上でも、市としても位置づけている、教育文化ゾーンにふさわしい環境整備というものなんかも行うべきだと考えます。この点について、お答えをいただきたいと思うんです。

3点目に、ねごろ資料館から根来寺までの大型農道については、歩道が、今現在ありません。歩道の整備も行って安全性も図るべきと考えるんですが、現在、整備計画も進められているというふうにも聞いているんですが、この歩道については、市として、完成のめどについては、どのようになっているんでしょうか。この点を3点目にお聞きしたいと思います。

4点目には、若もの広場の南には、新池というものがあります。また、その下には岩出図書館というものがあるんですが、周辺の地形というものなんかも生かした、そういう新たな活用方法という部分も含めて、住持池から根来寺という部分までの総合的な遊歩道や散歩道というようなことは、市としても考えないのか。また、地域における遊歩道整備という点については、市として、どのように考えているのかという点、この点をお聞きしたいと思います。

5点目に、根来の桜というものは、桜百選というものにも選ばれています。それが根来の桜という、そういう位置づけなんです。この間、この根来の桜というものを象徴していた「しだれ桜」というものが倒壊というんですか、幹が折れてという、そういう形の状況になって、以前のような華やかな、ああいうすばらしい状況にはなっていない、そういう状況になっています。

今も根元というのは残っているんですが、以前とは打って変わった状況になっています。「しだれ桜」の種子というんですか、「しだれ桜」の保存とか育成というものができないのかという、そういう形なんかで、この間、市なんかも、近大でしたかね、いろんな研究機関なんかも協議もして、種子の保存とか育成にも、以前、成功したんだというようなことなんかも聞いているんですが、その後の経過というのがどうなっているんでしょうか。そしてまた、市として、「しだれ桜」という、そういう部分なんかの点について、今後の取り組みというのは、どのように対応しようとしているのかというのをお聞きしたいと思います。

これまでも、岩出市の、いわば一種、春の部分での観光の目玉というような形でされてきたやつが、今後何十年ですか、30年、50年、100年というような、そういう部分なんかでも生かしていけるような、将来、岩出市の観光の目玉としていけるような形で、「しだれ桜」というものが再興というんですか、再び脚光を集めていくということができるような、そういう再興ができるのか、今のこの間の近況というのと、今後の市としての考え方とか、対応についてお聞きをしたいと思います。

以上です。

○井神議長　ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 1点目の根来寺周辺地域につきましては、現在、一乗閣、ねごろ歴史資料館の建設を進めているところであり、これにより、根来寺の歴史的・学術的価値や自然環境を生かし、周辺の緑化センター、根来山げんきの森、岩出図書館などと一体となって、楽しんでいただける地域づくりを進めてまいります。

次に、2点目の五百仏山遊歩道の整備に関しましては、月1回、ボランティアによる倒木の処理、草刈り、路面整備などを実施しているところです。現在のところ、特に新たな施設整備を行う予定はございません。なお、看板の修繕等については、ボランティアによる整備の中で、可能な限り対応してまいります。

次に、3点目のねごろ歴史資料館から根来寺駐車場までの市道、通称広域農道の整備につきましては、歩行者が安全に通行できるように整備を検討しているところです。

次に、4点目の新たな活用方法につきましては、現在、根来寺周辺観光促進事業として、施設整備等を行っておりますので、今後の観光促進事業の一環として、将来的な課題として対応してまいります。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 ご質問の5点目、「しだれ桜」の件について、お答えいたします。

市天然記念物に指定されている根来の「しだれ桜」を後世に残すため、根来寺は、平成16年に和歌山県の補助を受け、「根来寺シダレ桜『種の保存活動』事業」として、近畿大学生物理工学部へ種子の培養作出を委託し、種子の発芽状況を観察していましたが、発芽しなかったため、平成24年に岡山県勝央町にある独立行政法人森林総合研究所材木育種センター関西育種場に後継樹の苗木の育成を依頼し、翌年4月に、大島桜を台木に接ぎ木し、苗木の育成に成功しております。このうちの3本の苗木が、昨年3月に根来寺に戻されています。市といたしましても、根来寺と協議しながら、苗木の育成を見守ってまいります。

なお、親木についても、現在の状態を維持できるよう、根来寺に努めていただいております。平成17年からその費用の一部補助を行っているところでございます。

○井神議長 再質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 先ほど、道路のときにも、この素案の後期計画のやつを参考にさせていただいたんですが、実際の後期の計画案ですね、その中では、根来寺を拠点に、旧和歌山県議会議事堂の移築とあわせ、ねごろ資料館を観光拠点とした新たな観光動

線の構築とPRに努めると。観光施策に関する課題を抽出し、既存の観光資源の活用と見直しを図るとともに、市を代表する特産品の開発とPRに取り組む必要がありますと、こういうふうにも書かれています。

その点で、再度お聞きしたいのは、今、外国からの観光客というものなんかもふえてきている中で、案内看板とか説明板、こういうものなんかも、外国の方にもわかるような対応というものなんかも求められてきていると思うんですが、こういう点では、看板とか説明板、こういうようなものなんかは、今後どのように考えていくのかという点、この辺がまず1点です。

2点目は、この前山遊歩道という、前山に関しての遊歩道、これについては、実際にすばらしい場所があること自体を知らないという市民の方も多いんじゃないでしょうか。

以前、司馬遼太郎さん、この方が連載をした「街道をゆく」という紀行集の中で、この五百仏山と根来山に挟まれる根来谷、このことについて書かれているわけなんですが、今、国の特別史跡となっている一乗谷という、浅井家が三代にわたって治めた、ああいう地域の一乗谷という、そういうところの眺望、こういう眺望に匹敵する見事な地形と絶賛した場所なんですね。そういう点では、貴重な展望広場となっています。

今、国の進める地方創生という視点で、こういうような場所を生かして活用することこそ求められているんじゃないでしょうか。同時に、このことは地方創生で言われている補助金、こういう補助金の活用という形にも、私はつながってくると思うんですね。

実際には、この場所以外にも住持池を含む根来地域の歴史的な遺産を生かす上でも、私は、この後期計画の中でも、しっかりとした、やっぱり位置づけを持って取り組んでいくべきだと思うんです。この点について、前山についての視点ですね、前山についてどのように見ているのか、こういう視点について、再度お聞きをしたいと思います。

それと、もう1点、これは環境という、そういう面から憂慮するというんですか、そういうところが根来のところにあるわけなんです。それはもとのあおい荘、今、徳助という看板がかかっている場所が、倒産したんでしょうかね、そういうような形で、今、工事現場なんかにもあるような、そういう形でふさいでいるというんですか、そういうような状況なんかもあって、特に南側の道をずっと通ってくるというような形なんかをすると、いわば幽霊屋敷と言っているんですか、幽霊屋敷と見間

違うような、そういうような状況にもなっている場所があります。

そういう点では、個人の土地という、そういう関係もあるんですが、建物も含めてそうだし、周辺の道路関係もそうなんですが、少し見苦しいような、そういうような状況にもなっています。こういう点では、もう少し行政として行政指導というような形で、きれいな、そういうような環境づくりという部分も含めて進めていっていただけるといようなことなんかはできないのか、その辺、再度ちょっとお聞きをしたいと思います。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 再質問にお答えします。

まず、外国からの観光客に対してのご質問なんですが、W i - F i の環境整備や表示の多言語化を行ってまいりたいと考えております。

次に、遊歩道についてなんですが、遊歩道のほとんどは市の土地ではありませんので、ご質問のように補助金を活用して整備するということはできないんですが、根来寺を中心とした観光振興の一環として、P R という方向では検討していきたいと考えております。

それと、あおい荘なんですが、これは根来寺の所有となっておりますので、今後引き続き指導してまいりたいと考えております。

○井神議長 再々質問を許します。

増田浩二議員。

○増田議員 今、答弁いただいたんですが、私が言いたいのは、実際には、岩出市において、いわば観光という部分なんかにもつながっていく、そういうような場所がありますよと。その1つが前山やということで、すばらしい名所なんだと。眺望なんかすばらしいところがあるんだと。そういうところをやっぱりしっかりと生かしていくというのが、私は大事だと思うんです。

ところが、私、ちょっと素案のやつ読んでみて、非常に残念だなと思ったのが、この中には前山遊歩道というような言葉、1つも見つけることできなかったんです。住持池、これも観光面のとこだけしか見てないので、住持池、ひよっとしたら教育関係の部分のとこで出てくる可能性はあるんかもわからんけども、現実的には、住持池そのもの自身を観光という、そういう部分に結びつけていくという、そういう部分の発想での現状と課題という部分なんかも含めたところに載っていないのが、非常に私としては残念だなというふうに思うんです。

そもそも、そういう地域的な、岩出市そのもの自身をアピールしていける、そういう素材がせっかくありながら、そういうところになかなか市としても目が行っていかないというような現実があるのではないかというふうに思うんです。そういう点では、今後、そういった住持池という部分なんかもそうだし、前山という、そういう部分なんかもしっかりと、市としてもアピールしていくという、そういう方向性そのもの自身がどうなのかという点、私はそういう部分なんかも、しっかりとこの計画の中に盛り込んで、岩出市そのもの自身を発信していくという、そういうことがもっと必要じゃないかなというふうに思いますので、この点について、住持池とか前山という、そういう部分について、改めて、どのような視点で資源として生かしていくような形で取り組んでいくのかと、この点を最後にお聞きをしたいと思います。

○井神議長 ただいまの再々質問に対する市当局の答弁を求めます。

産業振興課長。

○今井産業振興課長 再々質問に対してお答えいたします。

根来周辺観光促進事業といたしまして、市で現在取り組んでおります。その中で、いろいろ関係者の皆様等のご助言等をいただきながら、既存の観光資源である根来寺周辺というのを生かした形で、観光の振興に取り組んでいくわけでございます。これにつきましては、根来街道グリーンツーリズムでありますとか、紀の川緑の歴史回廊という、こういう計画の拠点として、根来寺から情報を発信していき、広域的連携によって観光の拠点となるような、そういう取り組みを図っていきたいと考えております。

現在のところ、エリアとして考えておりますのは、住持池のほうについてまでも考えておりませんので、今のところ、ねごろ歴史資料館、一乗閣、根来寺、緑化センター、図書館、民俗資料館、根来山げんきの森、そういったところを生かして、中心部として整備を図っていくところでございます。

なお、前山につきましては、現在でも、まちづくり協議会などの語り部と歩くハイキング、それから、根来寺かくばん祭りなどでもポイントラリーとかして、今も活用させていただいておりますので、根来寺におきましても、昨年度、桜の植樹等実施しておりまして、整備の方針というのを持っておられますので、市も観光振興の一環として、これから総合的な活用を図っていきたいと思います。

○井神議長 これで、増田浩二議員の2番目の質問を終わります。

以上で、増田浩二議員の一般質問を終わります。